

## 市長から市民の皆さまへ 市長メッセージ

今年の8月15日は、令和に入って初めての終戦記念日となります。この令和の時代が名のとおり、平和な時代となり、次の世代、さらに次世代と、平和な社会が継承できるよう、国民が力を合わせて取り組んでいかなければなりません。そのためにも、戦争の記憶を風化させることなく、戦争の惨禍を二度と起こしてはならないという思いを繋いでいかなければなりません。

この8月には、恒久平和の実現を願い、平和事業として、市民ホールでの「平和のよろこび展」(2日～9日)をはじめ、6日は、広島原爆投下時刻に合わせて平和の広場(市民運動公園内)で「平和を誓うつどい」を行います。市民の皆さまも、これらの事業にお越し頂き、改めて平和の大切さを考える機会として頂ければと存じます。また、是非、平和への思いや戦争の悲惨さについてご家族で語り合っ頂ければと存じます。

さて、守山市では、昨年度末に、次世代を担う子どもたちが心豊かでたくましく成長できるよう、教育・保健・福祉分野が連携する中で、「子育て不安の解消」を目的に、また、「家庭での養育力の向上」を視野に、『こどもの育ち連携基本方針』を定めたところです。本号に掲載しておりますが、当該方針に基づき、今後、「新・守山版ニューボラ創造プロジェクト」を展開してまいります。具体には、①妊娠期における全妊婦を対象とした保健師などによるニューボラ面接を徹底し、

その後も寄り添った相談支援の実施 ②スマホを活用した無料母子健康手帳アプリにより、子どもの成長や予防注射などの記録ができ、また、子育て情報をプッシュ型で配信する仕組みの導入 ③「親子ほっとステーション」において、親子で楽しむ中で、子育てのポイントについて学ぶことができる「わくわく子育て応援プログラム」の提供——などに取り組んでまいります。

また、子育て世代はもちろん、高齢者・障害者などの全世代が身近な場所で相談支援が受けられるよう全世代型包括支援センターの設置に向けて検討を進めてまいります。

8月25日(日)には、守山市地震災害総合訓練を小津小学校周辺一帯で開催させていただきます。先月、九州地方等の豪雨により大きな被害が発生したところです。近年、全国で想定を超える災害が多発している中、あらゆる場合を想定し、備えていかなければなりません。学区や自治会においても防災訓練が開催されますので、是非ともご参加ください。

また、災害に備え、普段からお互いに助け合える地域づくりが重要です。この夏には、自治会などにおいて夏祭りが開催されますので、積極的にご参加頂き、地域の絆を一層深めて頂ければと考えております。

8月に入り、暑さが増してまいります。市民の皆さまにおかれましては、何卒、熱中症対策を含めて、ご自愛頂きますとともに、必要がありましたら、図書館や公共施設などを避暑地にして頂き、ご健勝にてお過ごし頂ければと存じます。

守山市長 宮本和宏

# 平和の祈り



守山市平和都市  
宣言シンボルマーク

戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代へ語り伝えるため、市内でさまざまな行事が開催されます。

### ●平和のよろこび展

時 8月2日(金)～9日(金)午前9時～午後5時  
(最終日は午後3時まで)

所 市民ホール 展示室

内 戦中戦後の生活用品や写真、戦地からの手紙や日記などの実物を多数展示

他 昭和三十一年展「昭和20～30年代の暮らしの道具」同時開催

●平和を誓うつどい

時 8月6日(火)午前8時10分～8時50分

所 市民運動公園 平和の広場

内 広島原爆投下時刻に合わせて、恒久平和を願う式典(手話通訳あり)

広島、長崎に原爆が投下された時刻や終戦記念日に、家庭や職場、地域で1分間の黙とうをお願いします。

広島原爆忌

時 8月6日(火)午前8時15分

所 市民運動公園 平和の広場

内 広島原爆投下時刻に合わせて、恒久平和を願う式典(手話通訳あり)

長崎原爆忌

時 8月9日(金)午前11時2分

所 市民運動公園 平和の広場

内 広島原爆投下時刻に合わせて、恒久平和を願う式典(手話通訳あり)

平和を祈念する日

時 8月15日(木)正午

所 市民運動公園 平和の広場

内 広島原爆投下時刻に合わせて、恒久平和を願う式典(手話通訳あり)

個人権政策課 ☎・☎(582)1116

☎(582)0539



平和のよろこび展



長崎被爆2世柿の木



広島被爆石

### ●平和の鐘

時 8月15日(木)正午

所 守山市仏教会加盟の寺院が一斉に鐘を鳴らし、平和の尊さを伝えま

す。

主催 守山市仏教会

●平和のモニメント

市民運動公園 平和の広場に、広島・長崎からいただいた「広島被爆石」と「長崎被爆2世柿の木」を設置

しています。これらには、核兵器廃絶への願いと、未来永劫にわたって

平和を求める思いが込められています。